

ショートコース委員会

委員長：馬場 隆彦(塩野義製薬株)

主な役割・使命	具体的な事業内容	備考
<p>昨年からワークショップに併設される形でショートコースが開設された。08年に2回目が開催の運びとなる。ISSXをはじめ、海外の学会においては充実したショートコースが開催されている経緯を鑑み、JSSXにおいても定着と発展の方向性を確保することを目的とする。</p> <p>特に、ショートコースの存在意義を明確にし、年会や薬物動態談話会セミナーとの位置取り、資格認定制度との関連などについても、早期に議論してゆかねばならないと考えている。</p> <p>向こう3年ほどの期間でしっかりとした基盤が確立すれば、本委員会はその役割を終えることが可能といえよう。</p>	<p>ショートコースの題材の策定＞代表世話人、準備委員会との連携</p> <p>以下の点について、具体的な方策の出し方を協議しなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショートコースの存在価値、方向性、受講者のメリットの明確化 ・ワークショップとの整合性と差別化 ・年会、薬物動態談話会セミナーとの整合あるいは差別化 ・講師確保への方策 ・海外講師の招聘の是非 ・参加費用の是非、値上げの論議 ・参加者の人数の程度についての議論 ・資格認定制度との連携をとる可能性があるか否か ・実技編を企画するか否か 	<p>特に、企業関係の評議員の先生のご協力が不可欠です。是非とも、業界全体の将来への先行投資と考え、ご協力を宜しくお願い申し上げます。評議員数は、24名を希望(委員とあわせてトータル30名となります)。</p>